

ブラジル金融政策（2024年11月）

利上げ幅を0.5%ptに拡大

2024年11月7日

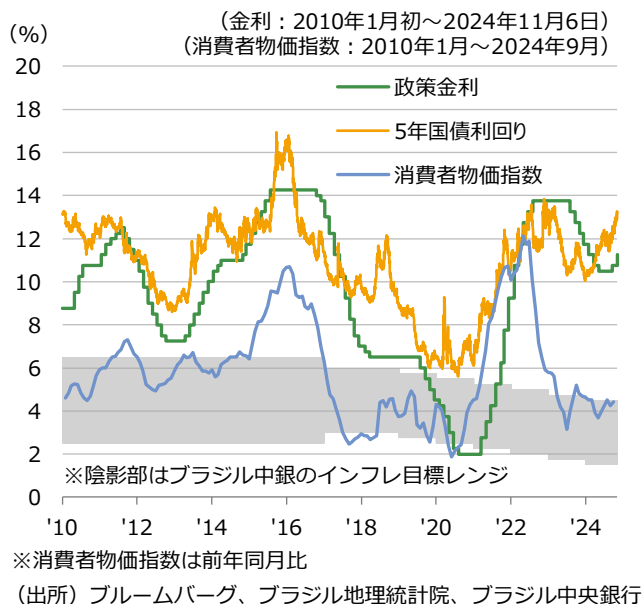
今後の利上げ余地は、特に財政政策の行方に依存か

ブラジル中央銀行は11月5～6日（現地）に金融政策決定会合を開催し、政策金利を10.75%から11.25%に引き上げることを決定しました。同行は前回9月の会合で利上げ（10.50%→10.75%）に転じましたが、インフレ期待の高まりなどを背景に今回は利上げ幅を0.50%ptに拡大しました。

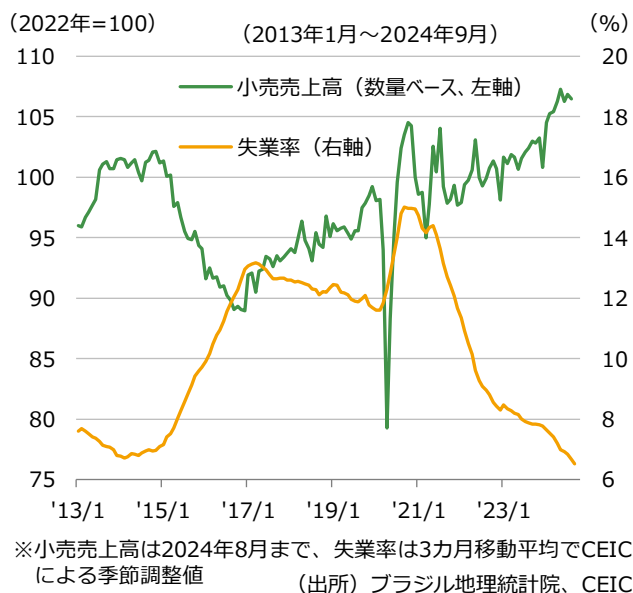
声明文には、前回同様に「経済活動の力強い回復、労働市場のひっ迫、需給ギャップのプラス転換、インフレ見通しの上方修正、インフレ期待の高まりが、更なる金融引き締めを必要にした」と利上げ決定の理由を記しています。また、今後についても、利上げ継続が基本線ようです。

最近のインフレを取り巻く材料は好悪入り混じっています。10月の降雨によって干ばつが緩和したことで、11月の電気料金引き下げが発表されたほか、年初からの金利上昇などが影響して個人消費の急回復に一服感が見られており、これらはインフレ懸念を後退させる材料です。他方、失業率が低下傾向を続けるなど労働市場はひっ迫したままであるほか、財政政策の不透明感も残っており、これらがインフレ懸念を高めています。今回の声明文でも「政府債務の持続可能性にコミットした信頼できる財政政策が、インフレ期待の安定や金融資産のリスクプレミアム低下に寄与し、その結果として金融政策にも影響を与えることを強調する」と記しており、近いうちに政府が発表すると目されている歳出抑制策、ならびにそれに対する金融市場の反応が今後の利上げ余地を左右することになりそうです。

ブラジルの金利とインフレ率



ブラジルの小売売上高と失業率



当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management